

～「芦北町総合防災マップ」と合わせてご確認・ご活用ください～

□ ため池ハザードマップの活用方法（急な事態へ備えましょう）

自宅の位置が浸水想定区域の範囲となっているか確認しましょう。



避難が必要な場合は自宅付近の避難所を確認しましょう。



浸水想定区域や災害が想定される場所を避けた避難経路を決めましょう。



避難経路を実際に歩いてみて、安全を確認、危険な場所がある場合は経路を見直しましょう。



□ 浸水時の避難の注意事項

浸水時に避難する際は、水で足元が見えないことが多いので慎重に歩きましょう。いざという時、どこへどの道を通って避難するのか、ふだんから確認しておきましょう。



□ 避難に備え早めの情報収集を行いましょう。

情報源	情報の種類	ウェブサイトアドレス
芦北町ホームページ (防災情報)	町内の防災関連情報や関連サイトなど	http://www.ashikita-t.kumamoto-sgn.jp/www/genre/000000000000/100000000047/index.html
熊本県統合型防災情報システム	大雨・集中豪雨による水害・水難時の情報など。	http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/
気象庁防災情報(熊本県)	熊本県の気象情報や地震情報など	https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default&area_type=offices&area_code=430000

□ いざというときの連絡先

◆行政機関

機関名	電話番号
芦北町役場	0966-82-2511
警察署	110
消防署	119

◆避難所リスト

避難所	電話番号

【お問い合わせ先】

芦北町役場 TEL 0966-82-2511(農林水産課) 〒869-5498 熊本県葦北郡芦北町大字芦北 2015 番地

芦北町

ため池ハザードマップ

ため池の諸元

ため池名称	堤防高	貯水量
大迫ため池	4.1m	1,300m ³

◆大雨や地震時はため池の決壟に注意しましょう。

ため池決壟の起こり方



◆気象庁や町からの呼びかけ(避難情報等)に注意しましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	※1 緊急安全確保
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難(自宅が安全なら屋内安全確保)	避難指示(注)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	※2 高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

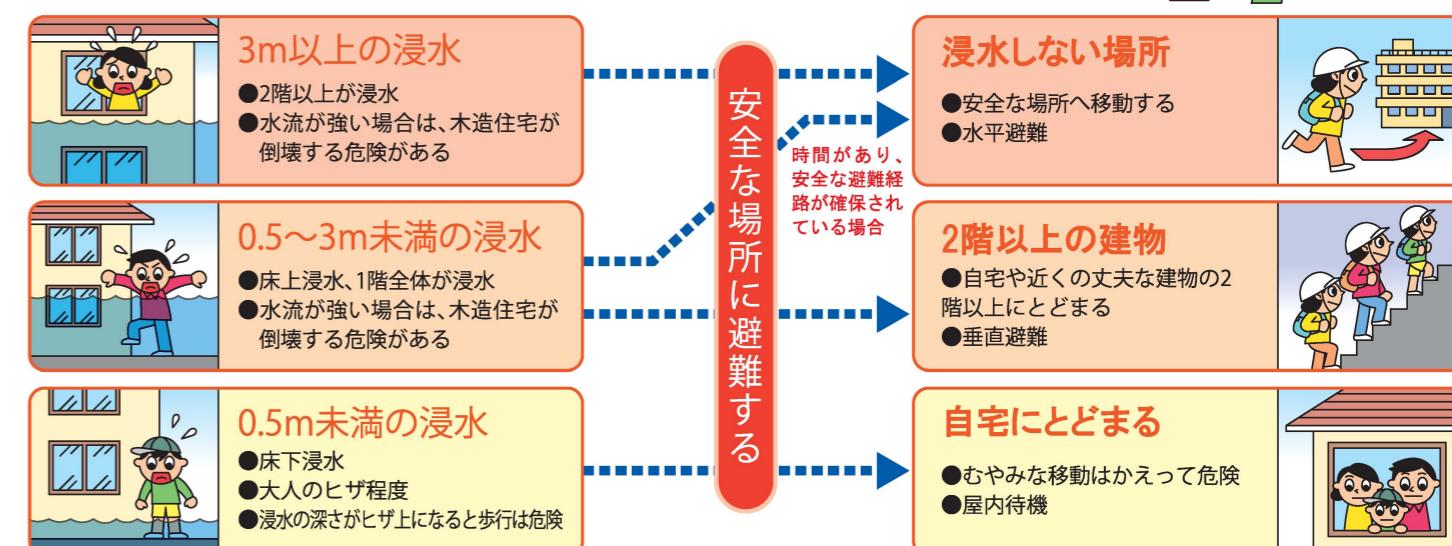
※1 町が災害の状況を確実に把握できるものではない理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自動的に避難するタイミングである

(注) 避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する

◆ため池決壟の恐れがあるときは速やかに避難しましょう。

台風など豪雨が予想される場合は、事前に避難しておくことが大切です。また、大きな地震があった場合は「ため池が決壟するかもしれない」という意識をもって少しでも安全な場所へ移動するようにしましょう。





いざというときあわてないためにも、どの道を通って避難するのか、避難所までの安全なルートをご家族で事前に確認しておきましょう。

このマップは、大迫ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池が満水の時に貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、浸水の深さの最大値とおおよその到達時間を示しています。

浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。実際のはん濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性もあります。

地震や豪雨時などに備えて、「芦北町総合防災マップ」と合わせてご確認・ご活用いただき、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

凡 例		
避 難 所	浸水想定区域	浸水深の目安
指定避難所	5.0m以上	水深 5.0m以上
指定緊急避難場所	2.0~5.0m未満	水深 2.0~5.0m
公民館	1.0~2.0m未満	水深 0.5~1.0m未満
病院	0.5m未満	0.5m未満
国 道	高速道路	
県 道	新幹線	
土砂災害警戒区域等		
土石流	地すべり	急傾斜
警戒区域	特別警戒区域	到達時間
		決壊から〇〇分後

